

目標を持つことの重要性について

安武 諒

九州医学技術専門学校 臨床検査科 3年

私は九州医学技術専門学校に在籍しています。現在(4月末)臨地実習を経験していないため、私が臨床検査技師を目指した理由と今後の目標について述べたいと思います。

私は幼い頃病弱でした。そのため、医療従事者である親戚のお世話になることが多く、医療というものを身近に感じながら育ちました。そのような環境から自然と医療従事者として働くイメージがありました。しかし、具体的にどのような職種に就きたいのかを決めることが出来ず、学校で教わる内容が一体何に役立つのか分からない状態で何となく勉強していました。そんな高校生活を送っていた時、現在通っている専門学校の先生から臨床検査技師についての講話を聴き、それがきっかけで検査という分野に興味を持ち、臨床検査技師の道に進むことを決めました。私は臨床検査技師になりたいという目標を持ってからは高校の勉強に身が入るようになり、目標とする学校に合格するため勉強するようになりました。

そのかいあって、現在の専門学校に入学することができました。教わる内容は明らかに高校時代よりも難しかったのですが、自分が興味をもった分野を学ぶことができ、さらに国家試験合格という目標があるため、充実した毎日が送れるようになりました。現在の自分と高校時代の自分を比較してみたところ、目標を持ったことによってモチベーションが上がり、物事に対して積極的になっていることに気づき、目標を持つことがいかに重要であるか考えるようになりました。

私は学校で教わる用手法が病院では用いられていないと聞き、どのようにして検査が行われているのか気になり病院見学に行きました。そこでは機械で殆どの検査データを出していたため、非常に驚きました。機械が出す検査データが何を表しているのか理解しないといけないため、現在では臨床検査技師の技術のみならず知識も

要求されていると痛感しました。そのため、今は就職後すぐに現場で活躍できることを目標に勉強しています。卒業後どのような臨床検査技師になりたいのかという具体的なイメージはまだできませんが、信頼される検査データを提供したいと思います。学会当日は、臨地実習を通して考えた私の目指す臨床検査技師像をお話しできればと思っています。